



淫乱

淫乱

乱



謎の男達に捕まり、拉致されあられもない恰好をされた、

小夜……

チャム……

!!

「古きもの」と戦えるその強靱な力も

人間を殺せないという一つの括りにより、

ただただ無力でしかなかった……。





はなせ!!

!!

4#

U U U

「ゲへへ♡これがあの噂の…」

殆ど人間と見た目変わんねえなあ、いいぜ♡

ヒヒヒ♡しかし案外簡単に捕まえられたなあ♡

古きものは殺せても

人間を殺せないというのは本当だったようだぜ♡」

「くツ！何者だお前達、私にこんな格好に…」

こんなことをして、文人の手のものか!？」

「関係あるといえるが部下じゃあないぜ、

だから今から何が起きるか大体わかるだろう？へへ♡」

「下衆が…!!」

「ハハハ♡そのザマで言われても滑稽なだけだぜ♡

その悔しそうな顔が却って劣情を催す、

楽しませたもらうぜ、バケモノ♡」



『ッ、んっ…』

『うッは♡こりやスゲーぜ♡』

『キサマ…その汚い手を今すぐ…』

『こりや人間でも早々お目にかかれねえぜ♡』

スゲー乳だ、乳首の先っぽもプリプリしてて、触感たまんねえ♡』

『うあッ…!!』

『しかもへへへ♡』

満更でもないみてえだな♡指を動かすたびに

吐息が、声が漏れてやがるぜ♡』

『くッ、!!』

『へへへ♡にゅぐにゅぐエロい音がかすかに聞こえるぜ♡』

『んあッ、…あッ!!言う…なあッ!!』

『俺達にも早く変わってくれよおw』

『へへ♡急かすなって、夜はこれからだ♡』